

Freude

vol. 18-10 2025. 1. 22. wed

1/29 (水) 18:30 小田川
 2/5 (水) 18:30 東梅田
 12 (水) 18:30 小田川
 19 (水) 18:30 天王寺駅前

大阪フロイデの譜読みのこと

亀井先生からシーズン初期にお話がありましたが、ニュース誌面でも再度、記載しておきますね。他の合唱団とムードが違ってとまどっている新入団の方、心配しすぎず、ついてきてみてください。

そして、必ず「丁寧なおさらい」をしますので、すすんでいることを理解していただけるなら、今からの入団もダイジョブ。とは言えあまり遅くなるとシンダイので今です！みなさん、ご友人、誘ってね～！

●大阪フロイデの譜読みはどんどん進みます

譜読みはどんどん進めています。「え～、まだ自分はココ、うたえてないし！」と感じている方も、「遅れて入ったから最初の方はわからないし」と言う方もいらっしゃることは、先生もご存じです。

これまでの何十年もの経験で「まずは楽譜の最後まで読み切る。それから最初に戻って音楽づくりをしながら復習していく」という方法を選んで、先生は練習計画を立ててくださっています。

ムカシは、みんながわかるまで一か所の譜読みに時間をかけた時代もありましたが、そうすると、本番一ヶ月前になっても譜読みが終わらない事件が発生してました＼(◎◎)／！

そんな試行錯誤を経て、現在の「とにかくまずは、最後まで譜読みを済ませる」という方法になっています。みなさんは、譜読みしたところは各自で復習してがんばってくださいね、でも「やっぱりまだうたえてない～」というアナタ、心配しすぎなくて大丈夫、譜読み後、最初に戻って練習するときに、特にどこがみんな歌えていないか見つけながら、できていないところを集中的に練習するなど、工夫してください。自分の努力は最大限がんばりつつ、心配しすぎず、練習に参加してください(^^)/

●大阪フロイデは譜読みの時も細かいと言います

大阪フロイデの譜読みは、ラララやドレミでは行いません、いきなりコトバで歌っていきます。また、譜読みのときに、まだ音もコトバもついていないのに、発音の細かい指摘や、声の質、スラーの付け方など、先生は細かいことまで指摘して下さいます。「え～、前に居た合唱団のやり方と違う～！」ととまどう方もいらっしゃるかも。でもこれも何十年の経験に基づいた方法です。

「まあ、最初やし、コトバ、カタカナ的でもエエワ」みたいなことをすると、最初に「クチや息の動きについてしまったクセ」は、ほぼ絶対最後までなおりません＼(◎◎)／！え～かげんなままでずっと行っちゃうモンなんです(^^;

なので、譜読みの時から、細かいことも身につけて、ちゃんとうたうクセをつけていきたい、ということなんです。筆者も経験がありますが、一度ついたクセを後から修正するのはホント大変！ぜひ、今、しっかり頑張ってください！

